

2016年産米の収穫予想(7月31日現在)

【作柄(水稻)】◆全国作況100の「平年並み」 北海道～九州「平年並み」、沖縄「やや不良」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(8月以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。熊本地震による作業上の影響や今後予想される高温の影響は、直接反映していません。8月以降の天候経過によって上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2016年産(平成28年産)の水稻は、6月上・下旬及び7月下旬に一時的に低温や日照不足の時期があり、生育進度に一部遅れが見られるものの、田植期以降、おおむね天候に恵まれたことから、ほぼ順調に推移していると見込まれます。全国の作況指数は100の「平年並み」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道～九州まで99～101の「平年並み」、沖縄が97の「やや不良」が見込まれます。

都道府県別にみると、作況指数102の「やや良」は、茨城、愛知、京都、奈良、和歌山の5府県、97～98の「やや不良」は、宮崎、沖縄の2県、99～101の「平年並み」はその他40都道府県がそれぞれ見込まれます。宮崎県は、早期米が4月、6月の日照不足等、沖縄の第一期稲は2～3月の低温・日照不足等の影響が見込まれます。

【作付面積】◆水稻推計139万4千ha(主食用等)

本年産米における主食用等の生産数量目標は743万トン(作付面積換算140万ha)、別途、需給均衡のための自主的取組参考値として735万トン(同139万ha)が計画されています。飼料用米など生産調整の取り組み状況や、各県等への聞き取りを踏まえて、本社としては主食用等の水稻作付面積を139万4千haと推計(変動する可能性がある)。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。

【水稻収穫量】◆主食用等741万4千トン、計画比1万6千トン減

作況・作付予測に基づく本年産水稻の7月31日現在における主食用等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり532kg、収穫量は741万4千トン。前年産実績比2万8千トン減、生産数量目標比1万6千トン減、自主的取組参考値比6万4千トン増ーの見通しです。

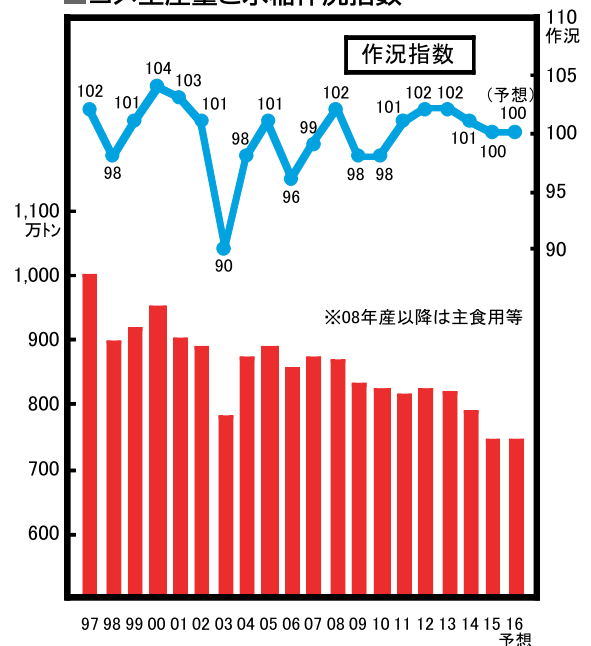
28/29年(平成28年7月から29年6月)における主食用米等の供給量は、28年6月末の在庫205万4千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて946万8千トンが見込まれます。農水省が基本指針で策定した需要量見通し761万3千トンを差し引くと、29年6月末の在庫は185万5千トンが見込まれます。今期より19万9千トン減となる計算ですが、過去3カ年、予定枠未達だったSBS輸入米の需要が復活する見通しで、その減少幅は圧縮する可能性が高くなっています。

【表1】全国の収穫予測(主食用等)

			2016年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,395,000	▲ 12,000	99.1%
	収穫予想	t	7,416,000	▲ 29,000	99.6%
水稻	作付面積	ha	1,394,000	▲ 12,000	99.1%
	10a収量	kg	532	1	100.2%
	収穫予想	t	7,414,000	▲ 28,000	99.6%
	作況指数		100	0	100.0%
陸稲	作付面積	ha	930	▲ 230	80.2%
	10a収量	kg	240	7	103.0%
	収穫予想	t	2,200	▲ 500	81.5%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。

■コメ生産量と水稻作況指数

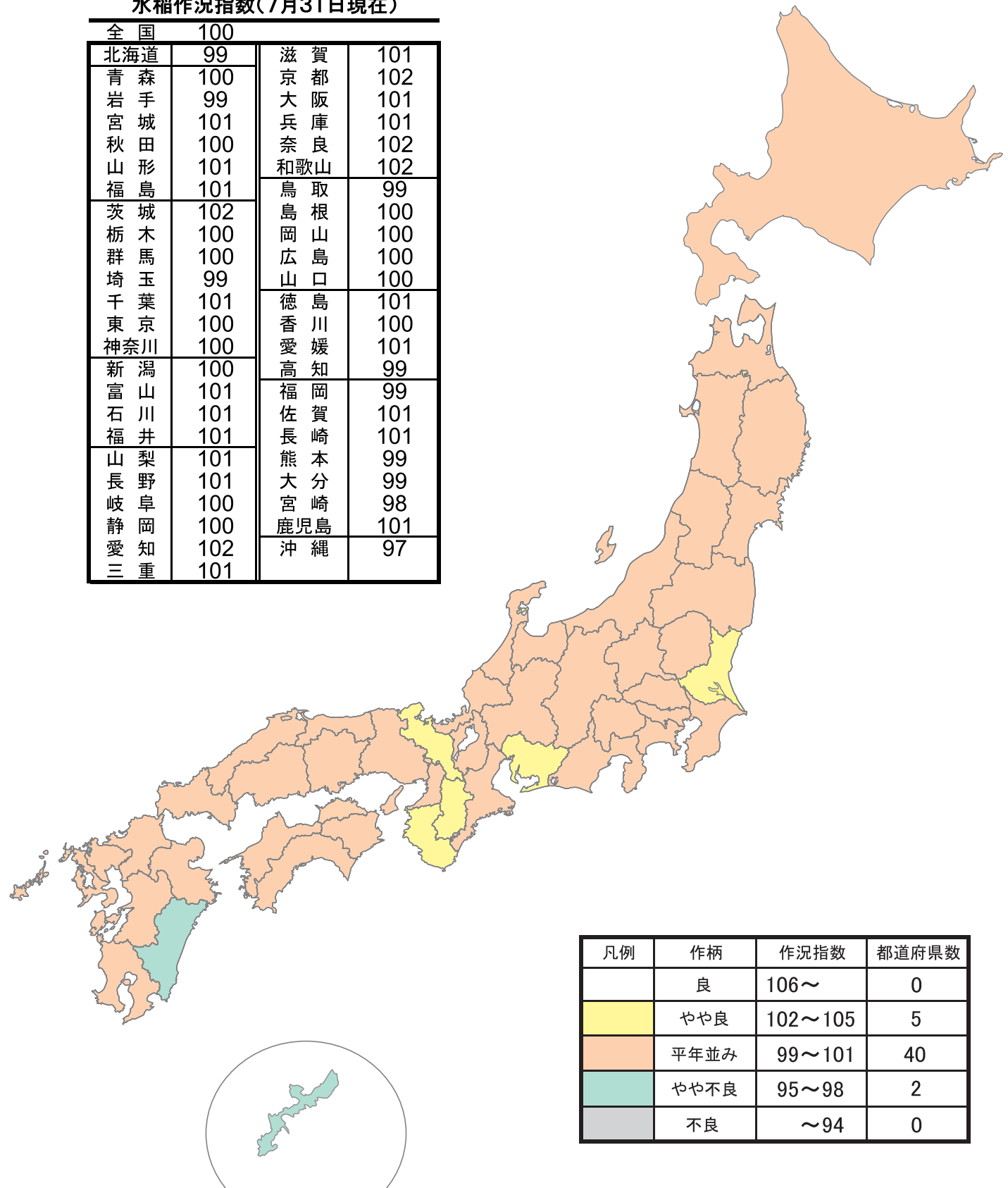


2016年産水稻の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稻作況指数(7月31日現在)

全 国	100		
北海道	99	滋 賀	101
青 森	100	京 都	102
岩 手	99	大 阪	101
宮 城	101	兵 庫	101
秋 田	100	奈 良	102
山 形	101	和 歌 山	102
福 島	101	鳥 取	99
茨 城	102	島 根	100
栃 木	100	岡 山	100
群 馬	100	広 島	100
埼 玉	99	山 口	100
千 葉	101	徳 島	101
東 京	100	香 川	100
神 奈 川	100	愛 媛	101
新 潟	100	高 知	99
富 山	101	福 岡	99
石 川	101	佐 賀	101
福 井	101	長 崎	101
山 梨	101	熊 本	99
長 野	101	大 分	99
岐 阜	100	宮 崎	98
静 岡	100	鹿 児 島	101
愛 知	102	沖 縄	97
三 重	101		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
	やや良	102～105	5
	平年並み	99～101	40
	やや不良	95～98	2
	不良	～94	0

[表2]2016年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全 国	1,394,000	532	100	7,414,000	▲ 28,000
北海道	99,400	536	99	532,400	▲ 27,200
青 森	36,800	586	100	215,600	▲ 14,200
岩 手	48,000	529	99	253,800	▲ 15,600
宮 城	63,700	536	101	341,600	▲ 6,800
秋 田	71,100	573	100	407,400	▲ 12,000
山 形	57,100	601	101	343,100	▲ 11,200
福 島	61,500	547	101	336,700	▲ 5,900
茨 城	67,900	534	102	362,900	17,500
栃 木	53,900	540	100	291,100	3,800
群 馬	14,200	495	100	70,300	▲ 100
埼 玉	31,600	485	99	153,300	1,100
千 葉	54,400	540	101	294,000	▲ 3,500
東 京	140	411	100	580	▲ 52
神奈川	3,030	493	100	14,900	▲ 300
新 潟	101,000	541	100	546,400	6,800
富 山	34,100	544	101	185,600	▲ 5,600
石 川	23,500	524	101	123,200	0
福 井	23,800	524	101	124,800	1,000
山 梨	4,950	552	101	27,300	500
長 野	31,700	627	101	198,800	4,300
岐 阜	21,900	488	100	106,900	600
静 岡	15,900	521	100	82,800	1,800
愛 知	27,200	517	102	140,700	3,900
三 重	27,300	505	101	137,900	2,200
滋 賀	30,600	523	101	160,100	1,600
京 都	14,400	521	102	75,100	1,700
大 阪	5,340	500	101	26,700	▲ 200
兵 庫	35,600	507	101	180,500	1,600
奈 良	8,800	523	102	46,000	400
和歌山	6,800	505	102	34,300	▲ 100
鳥 取	12,400	509	99	63,100	▲ 400
島 根	17,400	509	100	88,600	600
岡 山	29,500	526	100	155,200	5,700
広 島	23,900	523	100	125,000	3,300
山 口	20,100	504	100	101,300	600
徳 島	11,400	479	101	54,600	1,100
香 川	13,200	499	100	65,900	2,400
愛 媛	14,300	503	101	71,900	700
高 知	11,800	453	99	53,500	700
福 岡	35,600	492	99	175,200	2,900
佐 賀	25,400	524	101	133,100	4,800
長 崎	12,300	484	101	59,500	▲ 400
熊 本	33,300	508	99	169,100	▲ 2,400
大 分	21,300	497	99	105,900	2,200
宮 崎	15,400	486	98	74,900	200
鹿児島	20,500	487	101	99,800	4,100
沖 縄	800	300	97	2,400	130

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準。

(参考)

米穀データバンクの作況予測の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更していますが、従来の1.7ミリ基準でも9/15・最終値ともに作況100となっています。